

JICAインターンシップ・プログラム インターン募集！



募集時期・募集人数(予定)

実施期間:8月～3月までのうち国内は2週間～3カ月程度、海外は1～3カ月程度

※実施時期は上記期間のうちポストごとに異なります。合格後、配属部署との相談が可能です。

募集期間及び募集人数:適宜JICAインターンシップ・プログラムHPをチェック！



詳細はこちらから

募集部署／テーマ例(抜粋) ※募集部署・テーマは募集回ごとに異なります

(国内)社会基盤部／道路交通安全に係るJICAと国際機関及び国内関係機関との連携に係る調査研究

(国内)沖縄センター／研修を通じて学ぶ中南米地域の日系社会及び沖縄の連携強化と日系社会の活性化

(海外)タンザニア事務所／タンザニアにおける稲作振興協力-JICAの技術協力の現場からー

(海外)開発コンサルティング企業／ラオス国初等教育における算数指導力強化プロジェクト

費用補助(海外ポストのみ) ※費用補助の内容は変更になる可能性があります

海外旅行保険加入料	「JICA 国際協力共済会」への加入費を全額負担(原則日本発着)
予防接種費用補助	JICAが定める予防接種の接種料およびマラリア予防薬の処方薬代等を実費補助(上限あり)
渡航費用補助	インターンによる自己負担の上限額を10万円と定め、上限を超えた額をJICAが負担。海外在住者含め、原則日本発着航空券の手配はJICAが指定旅行会社に依頼
渡航費補助	2,000 円/日を支給

独立行政法人 国際協力機構(JICA)

人事部 開発協力人材室 JICAインターンシップ・プログラム担当

E-mail:jicaict-intern@jica.go.jp





© Shinichi Kuno

約2ヶ月間カイロに滞在し、学校での質問紙調査、授業観察、カリキュラムや研修の考案会議への参加など大変貴重な機会をいただきました。エジプト人の心の暖かさに救われたり、文献だけでは見えないエジプトの実情を目にしたりと、現地にいるからこそその学びを得ました。現地の文化・慣習を尊重し、よりよい未来のために奮闘されている開発コンサルの方々との出会い、これからの目標がより明確になりました！（開発コンサルティング企業／エジプト国特別活動を中心とした日本式教育モデル発展・普及プロジェクトのインターン生）



約2か月間という短い期間でしたが、日常業務、キャリア相談、研修事業への参加など様々な経験の機会をいただきました。特に、STI・DX室として「DXの促進」という新しい視点からJICAの活動についての知見を得ることができ、私自身が今後も国際協力に携わるうえでキャリアの築き方を再考するきっかけにもなりました。（ガバナンス・平和構築部／ICT分野に関するJICA事業の業務補助及び研修事業のインターン生）



在外事務所での働く姿を間近で見る事で、JICA業務への理解を深めることができました。また、キャリア構築への姿勢や、私生活との両立のお話を聞くことができ、とても勉強になりました。ナショナルスタッフの皆様からも色々なお話を聞くことができ、国際協力の現場では現地の文化、言葉などをよく知っているスタッフが必要不可欠であることを強く感じました。（マレーシア事務所／東方政策に関する日本留学支援の成果及び今後の方針検討のインターン生）

インターンシップへの参加を通じて、JICAは利益や金銭を追求するのではなく、外国の政府と連携し、人々の健康と生活に貢献する仕事に従事する場を提供していると学びました。今後は、ODAに加えて、企業のCSR活動や広報にも積極的に興味を持ち、国際協力とビジネスの融合にできる限り努力してたいです。（東京センター／来日時のブリーフィング業務、研修員福利厚生事業の立案、実施の支援、広報事業の実施、支援のインターン生）



© Osamu Funao

よくある質問

Q:大学一年生ですが応募は可能ですか？年齢制限はありますか？

A:応募時点で18歳以上であることが応募条件となっており、大学一年生の応募も可能です。

また、本プログラムは開発協力に関心のある方を対象としており、社会人の応募も可能です。

Q:自身の専門性がある程度定まってから参加した方がよいのでしょうか？

A:ポストによっては専門性を不要としているポストもありますが、インターンシップの参加にあたり、専門性は必須としていません。ただしJICA インターンシップ・プログラムは一度しかご参加いただけないため、応募のタイミングは慎重にご検討ください。

独立行政法人 国際協力機構(JICA)

人事部 開発協力人材室 JICAインターンシップ・プログラム担当
E-mail:jicaiict-intern@jica.go.jp

